

さら就労塾@ぽればれ（千歳台事業所）の事業見直しと跡地活用について

1 主旨

平成 19 年 10 月から I T 特化型の就労移行支援事業を開始した「千歳台事業所」は、開設当初は先進的な I T 特化型であったが、現在千歳台事業所の利用者は減少している。

そこで、運営法人は、令和 3 年 4 月に、千歳台事業所を北沢タウンホールに分場として開所した下北沢事業所と統合し、運営の効率化を図り、就労移行支援事業を継続する。

区は、障害者施設の計画的な整備を進めるため、令和 2 年 9 月に、障害者施設整備等に係る基本方針（以下、「基本方針」という。）を策定し、重点的に取り組む課題として、グループホームの整備を掲げている。

本跡地については、土地を民間事業者に貸し付け、補助金等を活用して重度障害者対象のグループホームを整備する。

2 千歳台事業所について

○世田谷区障害福祉計画（第 1 期、平成 18 年度～20 年度）の重点的取組みにより、平成 19 年 10 月から I T 特化型の就労移行支援事業を開始した。

○施設を区が用意し、プロポーザル方式により事業者（特定非営利活動法人 さらプロジェクト）を決定した。

○開設当初は I T 特化型が先進的であったが、現在の就労移行支援事業所は I T に関するプログラムは必然となり、通所に便利な場所に就労移行事業所が増えたこともあり千歳台事業所の利用者は減少している。

○そのため、運営事業者は北沢タウンホールにある下北沢事業所（千歳台事業所の分場、令和元年 7 月開所）と令和 3 年 4 月に統合し、運営の効率化を図る方針である。

○千歳台事業所利用者は、下北沢事業所の定員・登録者数を増やして受け入れを行う。

○施設概要：延床面積 121.02 m²、平屋鉄骨造（プレハブ）、2003 年（平成 15 年）5 月築

3 跡地を活用した重度障害者対象のグループホームの整備について

(1) 整備状況と必要性等

○基本方針において、令和 12 年度までに必要なグループホームの所要量を、中軽度障害者対象が 200 人程度（最大）、重度障害者対象が 300 人程度（最大）との想定している。

○東京リハビリテーションセンター世田谷・障害者支援施設梅ヶ丘からの地域移行の受け皿の 1 つである重度障害者対象のグループホームの整備が必要である。

○中軽度障害者対象のグループホームは、民間事業者による整備が進んでいるが、重度障害者を対象としたグループホームは、平成 27 年度に公有地を活用して開設した「バンプル」以降、整備されていない。（令和 2 年 10 月現在、3 施設・定員 34 名）

○整備目標値を充足する計画地を確保するためには、公有地の活用・転用が必要である。

(2) 敷地概要等

○所在地：世田谷区千歳台三丁目 17 番 16 号

○敷地面積：340 m²（区所有）

○用途地域等：第一種中高層住宅専用地域 準防災地域

○建ぺい率/容積率：60%/200%

※運営事業者へ貸付け整備を行う。賃料や期間等については、報酬改定や補助金の状況等を勘案し、無償も含めて検討する。

(3) グループホームの規模（見込み）

○建物：2階建て（延床面積：396㎡/1階198㎡・2階198㎡）

○人数：10名程度（短期入所併用）

○対象：重度障害者（障害支援区分：5～6）

(4) 所要経費（見込み）

1) 補助金（1か所分）

○東京都障害者通所施設等整備費補助事業

1ユニットの場合の上限：42,800千円 ※令和2年度当初補助基準額

*上記経費の8分の7が補助金上限額

○世田谷区障害者グループホーム等整備費補助：5,350千円(上限)

※令和3年4月の報酬改定を踏まえ、令和3年度に重度障害者対応グループホーム整備の推進のための運営費等補助の検討を行う。

2) 千歳台事業所解体工事費：13,739千円（予定）

4 今後のスケジュール（予定）

令和2年12月 利用者等説明

令和3年 4月 千歳台事業所と下北沢事務所の統合

住民説明会①（解体工事スケジュール、跡地活用等）

令和4年 1月 運営事業者公募

4月 運営事業者決定

解体工事（～10月頃）

8月 住民説明会②（建設工事スケジュール、設計概要等）

10月 工事着工

令和5年 9月 完成予定

5 現地図

